

(別紙)

県央基幹病院は計画どおりの開院と加茂病院の経営は新潟県で行うよう求める
意見書

加茂・田上地域は救急車の受け入れ病院探しに平均で59分を要しています。

受け入れ病院探しに時間がかかり救急車の中で住民が亡くなるという痛ましい事態と悲痛な遺族の声を背景に、住民の声が高まり、県央5首長と議会をはじめとする県央の声となって県に届けられました。10年の歳月を経て県央基幹病院の建設着工が目前となり、地域住民の大きな期待となっています。

県が基幹病院の見直しや県立加茂病院と県立吉田病院の縮小や廃止を行うことになれば、救える命を救えなくなります。県央地区住民の命が軽んじられることにならないでしょうか。

県央基幹病院建設は、医師の研修と教育の機能を備えた医師確保の重要な病院として計画されました。見直しや縮小では、ますます県央地区に医師は集まってきません。

県央基幹病院は、県央地域と医療関係者の度重なる協議で合意に至った努力を尊重して計画どおりの建設を求めます。

同時に、加茂病院が「赤字」だからと縮小や廃止などの見直しを行うのではなく、2次医療病院として風邪から終末医療まで、誰もが安心して受診できる県立病院として、公的医療を実施し続けることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和元年9月24日

新潟県南蒲原郡田上町議会

[提出先]

新潟県知事 新潟県病院局長